

**製品名: DGK- $\delta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09948**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	135kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DGKD
別名	DGKD; KIAA0145; Diacylglycerol kinase delta; DAG kinase delta; 130 kDa diacylglycerol kinase; Diglyceride kinase delta; DGK-delta
遺伝子 ID	8527.0
SwissProt ID	Q16760
免疫原	抗血清はヒト DGKD 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

**背景**

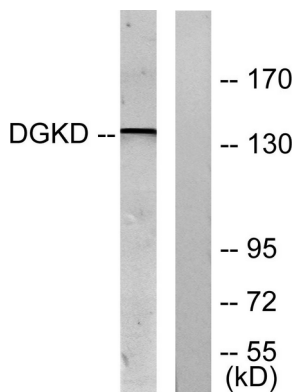
この遺伝子は、ジアシルグリセロールをリン酸化してホスファチジン酸を生成する細胞質酵素をコードしています。ジアシルグリセ

ロールとホスファチジン酸は、シグナル伝達カスケードにおいてセカンドメッセンジャーとして機能する 2 つの脂質です。これらの細胞内濃度はコードされているタンパク質によって制御されるため、細胞シグナル伝達において重要な役割を果たすと考えられています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性:  $ATP + 1,2\text{-ジアシルグリセロール} = ADP + 1,2\text{-ジアシル-sn-グリセロール 3-リン酸}$ 。酵素制御: ホスファチジルセリンによって部分的に阻害される。機能: シグナル伝達分子として機能する可能性がある。アイソフォーム 2 は細胞増殖および腫瘍形成に関与している可能性がある。PTM: アイソフォーム 1 の H ドメインはリン酸化されている。類似性: 真核生物のジアシルグリセロールキナーゼファミリーに属する。類似性: DAGKc ドメインを 1 つ含む。類似性: PH ドメインを 1 つ含む。類似性: SAM (無菌アルファモチーフ) ドメインを 1 つ含む。類似性: ホルボールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを 2 つ含む。サブユニット: 2 つのアイソフォームは、ホモオリゴマー構造およびヘテロオリゴマー構造 (少なくともテトラマー) を形成することができる。組織特異性: アイソフォーム 2 は腫瘍組織にも広く発現している。アイソフォーム 1 は卵巣、脾臓、および一部の腫瘍由来細胞に発現している。

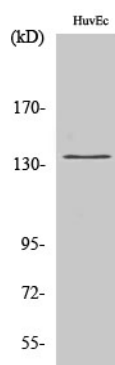
## 研究分野

グリセロ脂質代謝;グリセロリン脂質代謝;ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系;

## 画像データ



DGKD 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



DGK- $\delta$  ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析